

轟・大野原地区地域コミュニティ運営協議会

事務局だより (第8号・平成28年1月)

発行：轟・大野原地区地域コミュニティセンター

事務局長 永末 辰次郎 (TEL: 0954-43-3256)

轟・大野原地区地域コミュニティ運営協議会会長 末永 忠典

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、自然災害・ノーベル賞受賞・訪日外国人旅行者数1,900万人超増加等々、様々な出来事がありました。

轟・大野原地区地域コミュニティでは、発足(平成23年7月)当初から4年間、会長職を務められた森本正敏氏が5月退任されました。その間、轟・大野原地区コミュニティ発展のためにご尽力いただき、有り難うございました。ご苦労様でした。

今年、平成18年1月に嬉野市が誕生して、11年目を迎えました。九州新幹線長崎ルートの橋脚が姿を現し、着々と工事が進み町の様子が変わっている一方、色々な課題も抱えているようです。

ところで、轟・大野原地区には

- ① 湯野田区(1,174人) ② 下不動区(257人) ③ 中不動区(94人) ④ 大舟区(113人)
 - ⑤ 上不動区(222人) ⑥ 丹生川区(192人) ⑦ 俵坂区(97人) ⑧ 大野原区(270人)
 - ⑨ 上岩屋区(510人) ⑩ 下岩屋一区(491人) ⑪ 下岩屋二区(372人)
 - ⑫ 下岩屋三区(935人)の
- 12地区あります。

(平成27年3月現在)

そこでは、4,727人の住民が生活しています。

地区では、少子・超高齢化、人口流出のなか、区長が中心となり地区の伝統行事「大野原区民運動会・不動ふれあいまつり・猿(風日)浮立」等々を絶やさないように、熱意をもって

「コミュニティ活動・元気な地域づくり」に取り組んでおられることに、感謝いたします。轟・大野原地区コミュニティには6専門部会があります。各部会で実施した「さわやかガレッジ朝市、健康ウォーキング、老人クラブ対抗G・ゴルフ大会」等々に多くの方々が参加していただき、本当に有り難うございました。

残念だったのが「轟・大野原地区大運動会」が天候不順のため、2年連続中止になったことでした。大変嬉しく思ったのは『轟小コミュニティ・スクール』を掲げる轟小での「清掃活動・学習ボランティア・ポイ捨て禁止ポスター」等々に参加できたことです。

コミュニティ・地域行事に、住民が枠を超えて参加し、地域間の交流・親睦により“人と人のつながり”が出来ます。コミュニティ活動は、いろいろな人が集まる『場』です。そこには強いエネルギーが満ち溢れています。それが、地域の活性化を促進します。多数のご参加をお願いします。今年も「笑顔と元気の里！轟・大野原」をモットーに“コミュニティづくり”に貢献したいと思います。宜しくお願いします。

皆様にとって、良い年でありますようにお祈りし、新年の挨拶とさせていただきます。

